

夏休み前の遠隔授業

今日は日本人学校の終業式が行われるため遠隔授業となりました。今年度行った遠隔授業は、新型コロナウイルス感染予防対策のため5回、そして本日の1回を加えて、合計6回です。

「遠隔授業では楽しく学ぶことができましたか？」



直接、先生や友達と会って話が出来ないというハンデはありましたが、先生方はデジタル教科書を活用するなど、補習校として精一杯のことをやってきました。また、児童生徒の皆さんも遠隔授業にしっかりと取り組んでおり、その学習の様子を見ると、皆さんの頑張りが伝わってきてうれしく思います。もちろん、対面授業でも頑張っていました。そのように考えると、児童生徒と先生方とのコミュニケーションが取れるようになった成果かもしれません。更には保護者の皆様も子どもたちの遠隔授業での補助（サポート）や日頃の授業課題（宿題）での支援や見守りをしていただき、ありがとうございました。

夏休み明けの授業開始は8月28日(土)です。現段階では、補習校に来ての授業(対面授業)となりますので、新型コロナウイルス感染予防対策【保護者の校内への立入は禁止】の決まりを遵守して、安全に登下校できる準備をお願いします。それでは、夏休み中は、事件・事故に巻き込まれないように気を付けて健康で過ごしてください。

したい人10000人、始める人100人、続ける人1人

作家の中谷彰宏さんの言葉

人は誰でもしたいことや、やりたいことがたくさんあります。
ただし、やりたいと思っていても実行に移すのは100人に1人くらいだそうです。（99人は思っているだけで実行できない人）
また、実行に移した実践家でも継続するのは100人に1人くらいだそうです。（継続できる人は1万人に1人）継続できていますか。



続ける秘訣は、やりたくなる、続けたい仕掛けや、やらざるを得ない仕組みにするとよいそうです。

継続して行う事は難しいことだと考えられていますが、一度、習慣化されれば続けられるということです。続けてやることに「好き」とか「楽しい」とかいった感情が持てる「内的動機づけ」があれば習慣化しやすく、また、目標を達成するための自己成長が感じられる「外的動機づけ」があれば習慣化しやすいそうです。この夏休み中に、何かに打ち込めるものを見つけ（内的・外的動機づけ）、周りにやることを宣言して（やらざるを得ない状況づくり）、そのことを続けて行い、習慣化できると良いですね。

避難訓練実施

「自分の命は自分で守る」を合言葉に、7月17日に避難訓練を行いました。目的は、避難経路を確認する避難体験を通して、非常事態に遭遇した際に適切な行動がとれるようにすることです。今回は火災訓練で、事前に確認した避難経路を、安全に落ち着いて避難することでした。コロナ禍のため、昨年度行った学級単位での実施となりましたが、どの学級も私語をせず、先生方の指示を守り、安全に避難することができました。

非常事態の発生は、授業中だけではなくありません。休み時間や登下校中にも起こるかもしれません。不審者の侵入（テロを含む）や刃物を持った人との遭遇など、身の危険を感じたら、近くにいる先生や知っている大人の人の指示に従って、安全な場所まで避難するようにしてください。そして集まったときには、全員が揃っていることを確かめると共に、絶対に戻らないで、その場にいること、そして静かに待つことです。

移動中は「おさない はしらない しゃべらない もどらない」で避難してください。

【避難経路は覚えましたか？】



避難訓練の様子



学校からのお知らせとお願い

後期授業料納入期限は9月18日(土)となっています。

お支払いは、なるべく銀行振込をご利用ください。

小切手でのお支払いも可能ですが、保護者の校舎立入が禁止されていますので、提出は郵送となります。

詳しくは「授業料（後期分）納入のお願い」2021/07/24 配布をご覧ください。

